

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域における保健福祉活動の実践事業
事業主体 (連絡先)	信州うえだ農業協同組合 (0268-25-7800)
事業区分	保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,237,204円 (うち支援金: 1,049,000円)

事業内容

1 地域サロン(よりあい広間)の開催

地域で暮らす高齢者を対象に、自由に参加し、生き生きと過ごせる場所の提供(仲間づくり)と健康づくり、介護予防等を目的に開催した。

健康講話や健康づくり運動、ゲーム等のほか、同事業を通じて購入した体重計、血圧計を用いて健康管理を行った。

開催期間 平成28年3月15日から平成29年2月28日

講師 鹿教湯病院保健師、運動指導士、地域組織等

会場数 123会場

参加者 2,001名



【管内各地でよりあい広間を開催】

2 健康講座いきいきスクール(特別講座)

地域サロン(よりあい広間)が高齢者をメインの対象としているのに対し、幅広い世代を対象とした健康講座を開催した。

(1) 生活習慣病予防講座

日時 平成28年9月14日

会場 JA長瀬店

講師 大高保健師(鹿教湯病院よりJAへ派遣)

参加者 19名

内容 地域住民を対象に、近年、大きく注目されている生活習慣病について、特別講座を行った。本年、初めての取り組みである中で、参加者はメモを取るなど熱心であった。



【健康測定で健康状態を確認】

(2) 特別講座

日時 平成28年11月12日

会場 ラ・ヴェリテ

講師 鹿教湯病院医師・保健師、高田 佳子氏

参加者 41名

内容 特別講座として、「健康寿命を延ばしましょう」と「笑い健康教室」の2部構成で初開催した。世界糖尿病デーに合わせた講座では、目的別に複数のブースを設け、医師による講座のほか、簡単な検査や自宅のできる運動方法を案内した。

また、笑いヨガの第一人者である高田先生を招いた笑い健康講座では、会場は参加者の大きな笑いにつつまれた。



【保健師の話を熱心に聞く参加者】



【特別講座ではテーマ別に6講座を開催】

(別記様式第12号) (第3の8関係)

3 保健福祉推進大会

地域における保健福祉の推進と地域活性化を目的に保健福祉推進大会を開催した。本年の講師は知名度が高いことから、会場は満席となり、参加者は講師の話にうなずきながら、地域の活性化をはじめ、地域での助け合い(協同活動)重要性などや多くのことを学んだ。

日時 平成29年1月28日

会場 東御市サンテラスホール

内容 講演会、健康測定、地域グループの活動紹介

講師 東国原 英夫

参加者 地域住民ら767名



【鹿教湯病院による健康測定コーナー】



【地域づくりへの想いを語る東国原氏】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

それぞれの企画で、多くの地域住民に参画いただけたことは、健康や介護予防等、地域づくりへの波及や意識向上が期待できた。

地域サロン(よりあい広間)では、地域内の交流が図れたほか、高齢者の介護予防に役立てることができた。

初開催したいきいきスクールでは、幅広い世代の参加者があり、健康管理のみならず参加者の交流が図れた。

保健福祉推進大会は、多くの地域住民に参加いただき、地域活性化について皆で考える機会を設けることができた。特に、本年の講師はその知名度ゆえ、幅広い波及効果が期待できる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

保健福祉や健康、介護予防、地域活性化に向けた取り組みなどは、事業を継続して行っていくことが重要である。事業効果を高め、更に幅広い地域(住民)に波及させていくためにも、内容を検証し開催していきたい。

【目標・ねらい】

- ①保健福祉(健康)への意識向上
- ②地域の輪づくり(地域交流)
- ③豊かなくらしづくり
- ④地域づくり(活性化)への参画

※自己評価【B】

【理由】

新しい取り組みをはじめ、多くの地域住民に参画いただき、計画通りに実施できた。

本事業の事業効果を、数値で把握することが困難であることから。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある